

## 北陸新幹線早期全線開業に向けた市民集会を開催しました

12月10日(土)に福井県農業協同組合若狭基幹支店において、「北陸新幹線小浜・京都ルート小浜駅実現住民の会」と合同で北陸新幹線早期全線開業に向けた市民集会を開催しました。高木毅衆議院議員(オンライン参加)や中村副知事、嶺南6市町首長などを来賓に迎え、当協議会や住民の会の構成団体を中心に約260名が参加しました。

第1部では、「北陸新幹線全線開業を目指して ～全線開業による効果・地域のまちづくり～」と題し、京都大学大学院の藤井聡教授にご講演いただきました。藤井先生からは、新幹線が担う役割や小浜市における経済効果などを具体的な例を挙げて説明をいただき、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。



▲藤井聡京都大学大学院教授による講演会の様子



▲ガンバロー三唱の様子

第2部の決起集会では、松崎小浜市長や井田会頭らが挨拶し、地元の声を国に届けることの必要性や一日も早い敦賀以西の着工を訴えました。続いて、7年前に同会場で開催された「若狭ルート建設促進総決起大会」に当時小学生で参加した若者が登壇し、北陸新幹線全線開業を強く訴えました。その後、「敦賀・新大阪間の環境影響評価を沿線地域の意見を踏まえながら迅速に進め、小浜市域の詳細な駅・ルートについて、可能な限り早期に公表すること」、「敦賀・新大阪間について、令和5年度当初に着工できるよう、必要な財源を確保し、新大阪までの一日も早い全線開業を実現すること」の2項目を盛り込んだ決議を採決し、最後に全員でガンバロー三唱を行いました。